

# 実情を部分的に披瀝する英語構文の諸特性\*

—— {Part / Some} of it is that節構文の意味と機能 ——

大 竹 芳 夫

## 1. はじめに

話し手が自分自身の知識や経験に頼らなければ聞き手には容易には知りがたい情報を、部分的に打ち明ける場合がある。たとえば、次の日本語の例では、先行する事柄(=二重下線部)の背後の事情や実情のひとつ(=下線部)が「それは、ひとつには」や「それはひとつに」に導かれて聞き手に披瀝されている。以下、用例中の下線、二重下線、波線、破線表示は筆者による。

- (1) a. ただ、日本人は自己評価が低いほうだといわれています。それは、ひとつには謙虚であれ、といわれ過ぎて自分自身に対して、自信を持つことが難しくなってしまったのではないかと考えます。

(齋藤孝,『齋藤孝式“学ぶ”ための教科書』)

- b. 「必要最小限の使用にとどめるべきなんだ。抗生物質は病原菌とのイタチごっこだといわれるが、それはひとつに使用者側に責任の一端がある。使い過ぎなんだよ」

(山崎光夫,『菌株(ペニシリン)はよみがえる』)

(1a)では、「日本人は自己評価が低いほうだ」という先行する事柄の背後にある事情のひとつが「それは、ひとつには」に導かれて、「謙虚であれ、といわれ過ぎて自分自身に対して、自信を持つことが難しくなってしまった」と聞き手に披瀝されている。(1b)では、「抗生物質は病原菌とのイタチごっこだといわれる」という先行する事柄の実情のひとつが「それはひとつに」に導かれて、「使用者側に責任の一端がある」と聞き手に断言されている。また、次にあげ

る(2)では、「それまで、言われるまま払い続けた」という先行する事柄の事情のひとつが「それは、ひとつには」に導かれて伝えられた後に、さらにひとつの事情が「また、もうひとつには」に導かれて追述されている。

- (2) どうしてそれまで、言われるまま払いつづけたのかというと、それは、ひとつには清掃局側の対応のまずさもあつたかもしれません。2度目か3度目の慰謝料請求に現れたとき、しらたま運輸側では、「これは、もしや」と思い、清掃局の事故担当に相談したといひます。しかし、相談を受けた事故担当者は、まあ、言ってみれば、現場を知らない「ことなかれ主義」の役人ですから、「何とかうまく対応して、ここはひとつ穏便に」とか何とか、突き放してしまったようなのです。また、もうひとつには、しらたま運輸が、親族だけでこぢんまりとやっている小さな会社で、こうしたトラブルに対してなすべき方法を知らなかった、問題解決に関して無能だったということもあるかもしれません。

(落合三郎, 金原義明『こちらごみ収集現場いちころにころ?』)

英語においても、次例のように、「部分」を表す {名詞 part / 代名詞 some} + of it + be 動詞 + that 節の連鎖をもち、先行する事柄の実情を部分的に披瀝する構文がある。

- (3) a. Memory is quite central for me. Part of it is that I like the actual texture of writing through memory. – Kazuo Ishiguro  
(B. K. Hemphill, *The Elements of Creative and Expressive Artistry*)  
(記憶は私にとってとても大切な役割を果たしています。ひとつには、記憶を通して作品を書く質感が好きなのです。)
- b. “Then Danial’s an ass. But I understand now why he is so outraged that I love you. Some of it is that he’s pissed off that I do when other human women didn’t.” “Some of it is that he’s plain jealous.” Lash said, opening a bottle of Groom wine. (T. F. Hall, *Web of Memory*)

（「じゃあ、ダニエルはばか者だわ。でも私があなたを愛していることになぜ彼が激高しているのか、今わかったわ。ひとつには、人間の他の女性はそうしなかったのに、私がそうすることに腹を立てているのよ。」「ひとつには、彼が嫉妬深いというのもある。」 ラッシュはそう言って、グルームワインのボトルを開けた。）

(3a)では、「記憶は私にとってとても大切な役割を果たしている」ことの事情のひとつに“Part of it is that I like the actual texture of writing through memory.”（ひとつには、記憶を通して作品を書く質感が好きなのです）ということがあると明かされている。また、(3b)では、「私

があなたを愛していることに彼が激高している」ことの背後の事情のひとつに“Some of it is that he’s pissed off that I do when other human women didn’t.”（ひとつには、他の女性はそうしなかったのに、私がそうすることに腹を立てているのよ）ということがあると打ち明けられている。これを受けて、聞き手も“Some of it is that he’s plain jealous”（ひとつには、彼が嫉妬深いというのもある）と発話し、もうひとつの実情を部分的に追述して相手の情報を補完している。以後、{Part / Some} of it + be 動詞 + that 節の連鎖をもつ上記のような構文を便宜的に{Part / Some} of it is that 節構文と呼ぶことにする。

{Part / Some} of it is that 節構文の be 動詞の形態は単純現在形 is とは限らず、過去形(=4a)、完了相(=4b)など多様である。

- (4) a. I knew I should just suck up my pride and walk over there and tell Ethan how I felt and how much he mattered to me and that I was sorry, but I just couldn’t do it. Part of it was that all of the people sitting at Ethan’s table intimidated me in some way.

(M. Harris, *Adventures of a Graveyard Girl*)

（私はプライドをただ捨ててそこに歩いて行き、私がどのような気持ちなのかや彼が私にとってどれほど大切なのかをイーサンに伝え、私が悪かったと伝えるべきなのはわかっていました。でもただ

できなかったのです。ひとつには、イーサンのテーブルに座っていた皆が私を何らかの形で威圧していたのです。)

- b. Asked to explain the fall, Sir Stephen said that modern teenagers were “not out in the street so much” and preferred to stay indoors playing computer games or talking to each other online. “Some of it has been that the Xbox and PlayStation generation is less of a gang generation,” he said.

(*The Independent*, August 28, 2014)

(その減少を説明するよう求められて、サー・スティーブンは、現代の10代の若者は「あまり外に出ていない」で、家でコンピュータゲームをしたり、オンラインでお互いに話すのが好きなのだと説明した。「ひとつには、XboxとPlayStationの世代はギャング世代ほどではないのです。」と彼は答えた。)

{Part / Some} of it is that 節構文は話し手の心的態度を表す法助動詞としばしば共起する。(5a)では法助動詞 *must* が、(5b)では法助動詞 *might* が {Part / Some} of it is that 節構文の主節に生じ、先行する事柄の背後の事情や実情のひとつが話し手によって推論されている。

- (5) a. So why has SpaceX’s expansion into the private mission scene gone so well so far? Part of it must be that it’s such an attractive brand to partner with at the moment. (*MIT Technology Review*, February 3, 2021)

(では、なぜ SpaceX の民間宇宙飛行への事業拡大がこれまでのところこれほどうまくいっているのでしょうか。ひとつには、それは現時点で提携するのにとても魅力的なブランドであるにちがいないのだ。)

- b. In addition to reunions every five years, some of the classmates meet four times a year. Cianelli said he knew the division couldn’t break their special bond. “Some of it might be that we have such close camaraderie because they split us. [...],” he said. (*The Herald-Mail*, September 16, 2017)

(5年に1度の同窓会の他に、級友の中には年に4回会う者もいる。その分裂が自分たちの特別なきずなを断つことはあり得ないことはわかっているとシネリは言った。「そのひとつには、彼らが私たちがふたつの高校に分けたのでとても強い仲間意識があるのかもしれないのです。[...]」と彼は言った。)

また、本構文の that 節の補文標識 that が顕現しない用例や、さらには、主節部が補文とコンマで区切られて副詞的要素に格下げを受ける用例も観察される。(6a)では、“part of it’s just” の直後の補文には補文標識 that が表示されていない。ただし、コンマ+andで接続する補文には“..., and that you ...”のように補文標識 that が付与されている。また、(6b)では、主節部“Part of it is”が補文とコンマで区切られて副詞的要素に格下げを受けている。

- (6) a. People come here and sit in the lobby and write—my friend wrote her book in the corner there. And part of it’s just it’s a nice atmosphere and it’s quiet, and that you don’t get bothered and no one’s going to kick you out. (A. M. Homes, *Los Angeles*)

(人々はここに来てロビーに座ってものを書くのです。私の友人もあの隅で本を書きました。ひとつには、雰囲気がよくて静かですし、誰にも邪魔されませんし、誰も追い出したりしないだけなのです。)

- b. “I agree that I don’t want to be waving the flag around or anything but if it’s a re-enactment, it’s history.” Peterson said. “Part of it is, you can’t erase history.” (*The South Dakota Standard*, June 26, 2022)

(「私は旗を振り回したりしたくないのには同意するが、もしそれが再現であれば、それは歴史なのだ。」とピーターソンは言った。「ひとつには、歴史を消すことはできないのだ。」)

次の(7)が示すように、{Part / Some} of it is that節構文は疑問形でも発話される。

- (7) [...]: why should we care? With Kennedy, is part of it that he got such a big boost out of his wife's popularity and his family man image? Is it that the public itself feels cheated? (The Atlantic, July 12, 2012)

([...] なぜ私たちが気にしなければならないのでしょうか。ひとつには、ケネディの場合、妻の人気と家庭を大事にする人という彼のイメージから大きな後押しを彼が受けたということがあるのでしょうか。国民自身が騙されていると感じているのでしょうか。)

{Part / Some} of it is that節構文が否定形で発話される用例は手元の言語資料には多くはないが、次のような用例が観察される。

- (8) “A lot of times, too, Matty tries to be tough and not complain because he wants to fight his own way through it. He is a proud kid. A big part of it is, not that he doesn't want help, but he doesn't want to make it look like he needs any help. [...]” (ESPN Los Angeles, Aug 13, 2010)

(「また、多くの場合、マティは自分のやり方で戦いたいから、自分に厳しくして文句を言わないようにしているのです。彼は誇り高い若者なのです。肝心なのは、彼は助けを求めているのではなく、自分が助けを必要としているように見せたくないのです。[...]」)

本研究は、談話で頻用されるにもかかわらず、従来の研究では詳しく論ぜられることがなかった{Part / Some} of it is that節構文の意味と機能を実際の用例を観察しながら明らかにする。

## 2. {Part / Some} of it is that 節構文の意味特性

本研究で考察する{Part / Some} of it is that 節構文は、次例の下線部のような構文の主語 *it* が、「部分」を表す *part of* や *some of* によって限定されている構文であると考えられる。

- (9) The war we are engaged in is a difficult one. It is not that we are powerless; it is that many of us don't know how to react. (*The Guardian*, June 6, 2020)  
 (私たちが戦っている戦争は苦しいものです。私たちが無力なのではありません。私たちの多くがどのように対応すべきかがわからないのです。)

(9)における下線部の“*It is not that*”から始まる構文は *It is not that* 節構文，“*It is that*”から始まる構文は *It is that* 節構文とそれぞれ呼ばれ、Delahunty (1990; 2001), Declerck (1992), 大竹 (1994; 2021), Otake (2001), Koops (2007)でその意味と機能が明らかにされている。(9)では、私たちが戦っている戦争が苦しいという情報から、私たちが無力であると誤って聞き手が解釈する可能性を予め *It is not that* 節構文で打ち消すと同時に、「私たちの多くがどのように対応すべきかがわからない」という聞き手には容易には知りたない実情を *It is that* 節構文で披瀝している。

本研究では、{Part / Some} of it is that 節構文は、上例の如き *It is that* 節構文の主語 *it* が、「部分」を表す *part of* や *some of* によって限定されている構文であると仮定する。つまり、*it* が指し示す先行する事柄の背後の事情や実情を部分的に披瀝する構文であると解する。従来の記述文法書や語法書の多くは *It is that* 節構文の用例の提示にとどまり、{Part / Some} of it is that 節構文についても Curme (1931)を除いては言及がないように思われる (Jespersen (1909-1949), Poutsma (1929), Quirk et al. (1985), Swan (2016<sup>4</sup>))。Curme (1931)は(10)の *it* を場面の *it*, *that* 節を強意のない叙述とし、*it = the cause of her trouble-making* とパラフレーズしている。しかし、大竹(2021)で指摘したように Curme (1931)が「原因」

の解釈を直接 it の意味内容にみている点は不十分な分析である。

- (10) The queer part of it was that Miss Waters didn't seem to be really mean. It was just that she couldn't mind her own business. (Curme 1931)  
(奇妙なことに、ウォーターズさんは実際に意地悪な人には見えないのでした。ただ、彼女は自分のことに気を配れないだけなのでした。)

また、{Part / Some} of it is that 節構文は、It is that 節構文を意味論や語用論の観点から考察する論考においても取り上げられてはこなかった (Bolinger (1972), Carlson (1983), Delahunty (1990; 2001), Declerck (1992), 大竹 (1994; 2021), Otake (2001), Koops (2007))。

ここで、{Part / Some} of it is that 節構文の基本的意味を検証しよう。{Part / Some} of it is that 節構文は、先行する事柄の聞き手には容易には知りたくない背後の事情や実情を「部分的」に披瀝する点に特徴がある。このことは、同一談話内の同じ先行する事柄を契機として発話される because 節を含む構文と比較することによって確認できる。次の例では、二重下線を施した情報を契機として“Part of it was because...” と “part of it was that...” が連続して発話されている。

- (11) I remember vividly when I decided to quit the Boy Scouts. Part of it was because I was spending too much time on other activities like theater and thinking about talking to girls. But part of it was, that in the midst of all this rigid masculinity, I was wearing the tight shorts and neckerchief of a British Empire dandy. It was embarrassing. (The Daily Dot, May 4, 2018)  
(私はボーイスカウトをやめることを決めた時のことをはっきりと覚えています。それはひとつには、演劇のような他の活動や女の子とおしゃべりをするのを考えるのに時間を使いすぎていたからです。でも、ひとつには、こんな男らしさの時代の中であって、私は大英帝国のダンディのきつい短パンを履き、ネックチーフを巻いていたのです。恥ずかしかったのです。)



(11)では、話し手がボーイスカウトをやめることを決めたことの背後には because 節で示されている「演劇のような他の活動や女の子とおしゃべりをするを考えるのに時間を使いすぎていた」という明確な「理由」がひとつあったが、一方で「こんな男らしさの時代の中であって、私は大英帝国のダンディのきつい短パンを履き、ネッカチーフを巻いていて恥ずかしかった」という「内実」もひとつあったことが聞き手に打ち明けられている。つまり、「時代に合わないボーイスカウトの服装が恥ずかしかった」という話し手が披瀝しなければ聞き手には容易には知りたがたいボーイスカウトの服装の事情と話し手の内心が that 節内で披瀝されている。話し手は先行する事柄の明確な理由のひとつを“Part of it was because...”で伝えた後に、聞き手の予測や期待から外れる情報を接続する表現 but を介して、事情のひとつを“part of it was that...”で打ち明けている点も特徴的である。

次の例では、二重下線を施した情報を契機として“Some of it’s because...”と“some of it is that...”が連続して発話されている。

(12) I mean, there were some people who were immune, to be sure. But of course, as you know, with flu, just like probably with coronavirus, you’re not immune for that long of a period of time, maybe four or five months. But that’s why we give flu vaccines every year. Some of it’s because it’s a different strain. But also, some of it is that your immunity has worn down.

(WebMD, November 11, 2020)

(つまり、たしかに免疫のある人たちがいました。しかし、もちろん、ご存じのように、インフルエンザは、おそらくコロナウイルスと同様に、その一定の期間、おそらく4、5か月間は免疫がありません。しかし、だからこそ私たちは毎年インフルエンザワクチンを提供しているのです。ひとつには、それが別の株だからです。しかし、同時に、ひとつには、みなさんの免疫力が低下してきているのです。)

(12)では、話し手が毎年インフルエンザワクチンを提供している事実の背後には「それが別の株である」という明確な「理由」がひとつあることが述べられた直後に、「みなさんの免疫力が低下してきている」という話し手が披瀝しなければ聞き手には容易には知りたがいたい実情のひとつも伝えられている。つまり、先行する事柄の直接の理由のひとつがbecause節内で提示されるのに対して、因果関係は直接認定されないが、背後の実情のひとつとして認定される情報がSome of it is that節構文で提示されている。この例においても(11)と同様に、先行する事柄の理由がひとつ述べられた後で、聞き手の予測や期待から外れる情報を接続する表現butを介して、Some of it is that節構文で伝達価値の高い実情がひとつ披瀝されている。

次に{Part / Some} of it is that節構文の発話の契機となる疑問文について考えよう。次の例ではHow is it that疑問文に対する答えにSome of it is that節構文が発話されている。大竹(1998; 2021)で論じたようにHow is it that疑問文は、ある事象の全体的な論理過程を想定したうえでその背後の事情を理解しようとする場合に発せられる疑問文である。(13)では、How is it that疑問文の応答文として、背後の事情のひとつを披瀝するSome of it is that節構文が発話されている。

(13) How is it that you don't piss people off?

I think some of it is just that you have to be able to pull it off, and that means listening, doing a lot of listening, and a certain amount of research.

(Portland Monthly, February 24, 2020)

(あなたが人々を怒らせないのはどうしてなのですか。)

それはひとつには、ただうまくやり遂げることができるようになることが大切なのだと思います。それは、人の話に耳を傾けること、たくさん聴くこと、ある程度の調査をすることなのです。

また、次の(14)では、相手からwhy疑問文で「原因・理由」を問われた話し手は「理由はわかりせん」(I don't know.)とまず答え、話題中の計画が軌道に乗らないという事柄の明確な理由、直接の原因は知らないことを伝えている。しか

し、その直後に、話し手はPart of it is that節構文を用いて、その事柄の背後の事情や実情については、部分的に列挙して伝えていることがわかる。

(14) Why doesn't this ever take off?

I don't know. Part of it is that people find it icky for vague indentured-servitude reasons. Part of it is just that nobody understands student loans, so people want to do the simplest most normal thing rather than some weird financial-engineering experiment. Part of it is that young ambitious people at the beginning of their careers may have a bias against giving up upside: [...]

(Broomberg, April 10, 2019)

(一体なぜこの計画は軌道に乗らないのですか。

わかりません。ひとつには、漠然とした年季奉公のせいで人々がそれを不愉快に思っているのです。ひとつには、誰も学生ローンのことを理解していないので、奇妙な金融工学の実験よりも、最も単純な最も普通のことをしたいただけなのです。ひとつには、キャリアをスタートさせたばかりの野心的な若者が上昇志向を捨てることに対して偏見を持っているかもしれないのです。[...])

さらに、ある事柄の原因や理由を問う why 疑問文に対して、直接の原因や理由を直ちに答えるのではなく、事実を積み重ねてから、帰結、結論として、その事柄の背後の事情のひとつを披瀝する意識で発話される {Part / Some} of it is that 節構文も確認される。(15)では、「なぜあなたがカミングアウトするのにその時まで時間がかかったと思いますか」という記者の質問に、話し手は即座に直接の原因や理由を答えてはいない。話し手はこれまでの経緯や事実を伝えてから、カミングアウトするのに時間がかかった事実の背後には、“part of it is that I was scared” (ひとつには、私は怖かったのです) という事情のひとつがあることを「帰結・結論」を合図する接続表現 “and so” を介して発話している。

(15) MW: Why do you think it took you until then to come out?

NAFTALI: That's a good and fair question. Everybody's coming out story is very personal. It's unique to them. In my case, it was fear of AIDS. I knew that I was at least bisexual when I was in college — I graduated from college in 1983. I had gay friends, and they talked to me about New York and told me about people getting sick. They weren't sure what it was. People thought it was hepatitis. And so part of it is that I was scared.

(*Metro Weekly*, January 18, 2021)

(MW: なぜあなたがカミングアウトするのにその時まで時間がかかったと思いますか。

ナフタリ: それはもっともなよい質問です。だれにとってもカミングアウトの話は非常に個人的なものです。皆それぞれ違います。私の場合、エイズに対する恐怖なものでした。大学生のときに少なくともバイセクシャルであることを知っていました。それから1983年に大学を卒業しました。私にはゲイの友人たちがいて、ニューヨークのことや病気になった人たちのことを話してくれました。彼らはエイズが何なのかわかりませんでした。人々は肝炎だと思っていたのです。だから、ひとつには、私は怖かったのです。)

本節では、実例を観察しながら、{Part / Some} of it is that 節構文が、先行する事柄の聞き手には容易には知りがたい背後の実情や事情を「部分的」に披瀝する特性を検証した。

### 3. {Part / Some} of it is that 節構文の機能的特性

ここまで{Part / Some} of it is that 節構文の基本的な意味を考察してきた。では、先行する事柄の事情や実情を部分的に披瀝することが求められるのはどのような談話環境であろう。{Part / Some} of it is that 節構文は主に次のような話し手の意識下で発話されると考えられる。

第一に、発話時点で、先行する事柄の複数の実情が話し手の念頭にあり、その実情をひとつひとつ列挙する意識下で本構文が発話される場合がある。たとえば、(16a-b)では、二重下線を施した部分の事柄の背後の事情や実情が、連続する三つの{Part / Some} of it is that 節構文でひとつひとつ列挙されている。

- (16) a. Obama, by contrast, was widely seen as disappointing. Chen reflected: “Part of it was that being president every day, you’re not used to being told no. Part of it was that he underestimated Mitt. Part of it was that he didn’t want to be there.” (*The Guardian*, September 24, 2016)

(対照的に、オバマは期待外れとの見方が優勢だった。チェンは次のように考えた。「ひとつには、彼は毎日大統領の職務に就いているので、ノーと言われることに慣れていないのだった。 ひとつには、彼はミットを見くびっていたのだった。 ひとつには、彼はそこにいたくなかったのだった。」)

- b. “You have a lot of Republicans who are going to follow Trump’s lead,” said McDonald. “That didn’t happen everywhere, but it happened in enough places, so that we now have candidates who are moving forward in general elections, and they’re unpopular.” “Part of it is that they’re extreme, and part of it’s that they’re incompetent. Part of it is that Trump still is looming large. [...]” he added.

(*The Financial Times*, August 19, 2022)

(「トランプの驥尾(きび)に付す共和党員はたくさんいます。」とマクドナルドは言った。「それはあらゆる場所で起こったわけではありませんが、そこそこの場所で起こったので、総選挙で躍進している候補者がいます。しかし、彼らは不人気なのです。」と彼は付け加えた。「ひとつには、彼らは極端なのです。 またひとつには、彼らは能力がないのです。 ひとつには、トランプは依然として大きな存在なのです。 [...]」と彼は付け加えた。)

ただし、聞き手の理解の負担を考慮して、話し手が順序だてて複数の実情を列挙する場合もある。次例では、ふたつの実情を伝えるのに、“part of it is that…”に続いてanother（もうひとつの）やthe other（残りのひとつの）という順序を合図する表現を用いた“another part of it is that…”, “the other part of it is that…”という形で実情が披瀝されている。

(17) a. Post: [...] Why did you choose that approach?

Grigoriadis: Part of it was that I wanted to do a macro book, a really national book, and doing that meant it was harder to hone in on specific cases and still get a flavor of what’s going on all over the country. Another part of it is that these cases are really hard to figure out. (The Washington Post, September 5, 2017)

(ポスト：[...] なぜあなたはそのアプローチをとったのですか。

グリゴリアディス：ひとつには、私はマクロブック、つまり本当に全国的な本を書きたかったのですが、それを行うと、特定の事例に注意し、今後も全国で何が起きているのかを理解するのが難しくなったのです。もうひとつには、これらの事件は解決するのが非常に難しいのです。)

b. All of that schematic stuff said, it looks much simpler when Tucker is out there physically doing it. Part of it is that it’s muscle memory, and the other part of it is that Lowry just makes things much easier for others.

(Five Reasons Sports Network, April 21, 2022)

(そうした戦術はさておき、タッカーがそれを身体を使って実践すればずっと簡単に見えるのです。そのひとつには、身体が憶えているのです。また、もうひとつには、ローリーが他の選手に物事をはるかに簡単にしてくれるだけなのです。)

第二に、話し手が先行する事柄の事情を部分的に列挙するのではなく、主たる部分の実情だけを披瀝することがある。次の(18)がその例である ((18)は(3a)

の再掲)。

(18)(=3a) Memory is quite central for me. Part of it is that I like the actual texture of writing through memory. – Kazuo Ishiguro

(B. K. Hemphill, *The Elements of Creative and Expressive Artistry*)

(記憶は私にとってとても大切な役割を果たしています。ひとつには、記憶を通して作品を書く質感が好きなのです。)

先行する事柄の主たる部分の実情が意識して伝えられる場合には、本構文の主語に「大部分」を表す語彙を伴う場合も確認できる。(19)では“A lot of it” (その主な事情) が、(20)では“No small part of it” (その決して小さからぬ事情) が主語に据えられて先行する事柄の主たる部分の実情が伝達されている。

(19) HOUSTON: Why do you think Chicago is such a magnet for podcasts?

SEELEY: I don't know. A lot of it is just that there're a lot of stores here.

(E. Houston, *The Comic Book Podcast Companion*)

(ヒューストン：なぜシカゴはポッドキャストをこのようにひきつける場所だと思いますか。

シェリー：わかりません。一番には、ただここにはたくさんの店があるんです。)

(20) Intelligence matters. Wonder why left tackle Connor Williams is so good? No small part of it is that he's extremely bright, which makes him coachable and a quick learner.

(*Burnt Orange Nation*, December 30, 2016)

(知性は重要である。なぜ左タックルのコーナー・ウィリアムズがそんなに上手いのか不思議に思うだろうか。その決して小さからぬ事情として、彼は非常に聡明で、指導のしがいがあり、のみ込みが早いのである。)

さらに、Part of it is that 節構文の主語に、biggest などの最上級を伴う表現が生じ、先行する事柄の最も伝達価値のある部分の実情が披瀝される場合もある。(21)

では、水害で母が家屋に大きな被害を受けたものの、母は助かったという実情が最も重要な情報として伝えられている。

- (21) “My mother lost practically everything in that home; memories, her belongings, everything. However, the biggest part of it is that we have my mother here.”  
Harlan said. (KSDK Local News, July 30, 2022)

（「母はあの家のほぼすべてを失ってしまいました。思い出も家財も全部です。けれども何よりも大切なのは、私たちには母が無事にここにいることなのです。」とハーランは言った。）

第三に、先行する事柄の事情や実情が部分的にふたつ以上言及される場合であっても、{Part / Some} of it is that 節構文が単に並べつらねられるのではなく、伝達情報の価値に基づいて配列されることがある。主たる事情に力点をおいて披瀝するための前段として、まずひとつの事情を提示しておくために{Part / Some} of it is that 節構文が発話される事例がある。たとえば、次例では、多くの民主党員がバイデンを大統領に指名することを心配している背後の事情を部分的に披瀝する文脈で、話し手はまず“Part of it is that...”でバイデンが高齢で失言癖があるというひとつの事情を伝えておき、次いで“much of it is that...”でバイデンが臆病で退屈な人物に思われるという大きな事情を聞き手に伝えている。2番目の“much of it is that...”内の事情にこそ話し手の力点が置かれていることは、主語に much という語彙が選択されていることのみならず、聞き手の予測や期待から外れる情報を接続する表現 but によって導かれて発話されていることから明らかである。

- (22) A lot of Democrats worry about nominating Joe Biden for president. Part of it is that the former vice president is old and gaffe-prone. But much of it is that he seems timid and boring. (Slate, August 9, 2019)

（多くの民主党員は、ジョー・バイデンを大統領に指名することを心配している。ひとつには、この前副大統領が年老いていて失言癖がある



のだ。しかし、一番は、彼が臆病で退屈に思われるのだ。)

次の(23a-b)においても、先行する事柄の背後の事情を披瀝するために、まず“Part of it is that...”でひとつの実情を前段として伝えておき、それ以上に大きな部分を占める実情を“But a bigger part of it is that...”や“but a larger part of it was that...”のような主語に比較級を伴う形で導入することが観察される。

- (23) a. But I find it very difficult to take naps. Part of it is that it is challenging to find an opportunity to actually lie down and get the shuteye; both of my children don't always sleep at the same time during the day. But a bigger part of it is that when I do get the opportunity, on the days that the girls are sleeping at the same time, or when my husband is home and actively encouraging me to rest (I've observed, a bitter envy rising in my chest, that he has no trouble whatsoever dozing off instantaneously for three or thirty minutes, however long is available and however much he needs to recuperate), I just can't stand the thought of "wasting" my time sleeping.

(C. C. Lim, *Full Hands, Full Heart, Full Circle*)

(でも、昼寝をするのはとても難しいと思います。ひとつには、実際に横になって目を閉じる機会を見つけるのが難しいのです。というのは私の子どもたちは二人とも、日中、いつも同じ時間に寝るわけではありません。でも、もっと大きいのは、娘たちが同じ時間に寝ている日や夫が家にいて私に積極的に休むように勧めてくれる機会を得たときでも ([訳省略])、私は自分の時間を睡眠に「無駄にかう」と考えると耐えられないのです。)

- b. He thought about leaving and actually walked a few steps toward the door, but then he changed his mind and walked over to the living room to sit on the sofa across from Rigel. Part of it was that he was curious about what the hell was going on, but a larger part of it was that he wanted to make

absolutely sure that Atlas was now satisfied that he had gotten Rigel to safety. (A. Nothlit, *Light Shaper*)

(彼は帰ろうかと思ひ、実際に玄関に向かって数歩歩いたが、気が変わってリビングルームに歩き、リゲルの向かいのソファに座った。 ひとつには、いったい何が起きているのか彼が知りたがっていたのであるが、それよりも大きな事情は、リゲルを安全な場所に連れて行ったことにアトラスが満足していることをどうしても確かめたかったのである。)

なお、{Part / Some} of it is that 節構文には、(24a-b)のように just としばしば共起するという特徴がある(=(6a), (13), (14), (19)も参照)。{Part / Some} of it is that 節構文に生ずる just は、命題内容の重要性を下げて控えめに伝える副詞である (just の語用論的機能については Lee (1991) を参照)。Otake (2002), 大竹 (2021) で論じた It is that 節構文が just としばしば共起するのと同様に、{Part / Some} of it is that 節構文も聞き手には容易には知りたがたい実情を披瀝することから、just を用いて話し手の知識の優越の含みや聞き手の無知をあげつらっているという含意を積極的に回避しようとする話し手の気持ちの表れであると考えられる。

- (24) a. But his diet consists largely of bacon, yogurt and frozen stuffed chicken breasts. “It’s just like any other bad habit,” he said. “Part of it is just that vegetables are a little intimidating. I’m not afraid of zucchinis, but I just don’t know how to cook them.”

(*The New York Times*, September 25, 2010)

(しかし彼の食事は主としてベーコン、ヨーグルト、詰め物をした冷凍鶏胸肉だけです。「他の悪習と何ら変わらないのです。」と彼は言った。「ひとつには、野菜がちょっと苦手なだけなんです。ズッキーニは嫌いじゃないんですが、その料理の仕方がわからないだけなんです。」)

- b. The Broncos' safeties struggled last year. Some of it wasn't their fault—Rahim Moore was injured, for instance—but some of it was just that the players on the roster weren't that good.

(*Bleacher Report*, March 24, 2014)

(昨年ブロンコスのサフティーたちは苦闘した。たとえばラヒム・ムーアがけがをしたりと、彼らの責任ではなかったのだ。むしろひとつには、登録選手枠の選手たちがそんなによくなかっただけなのだ。)

本節では、{Part / Some} of it is that 節構文を用いて話し手が先行する事柄の背後の事情や実情を部分的に披瀝する理由を検証した。

#### 4. まとめと今後の課題

本研究では、先行する事柄の背後の事情や実情を部分的に披瀝する英語構文のひとつである {Part / Some} of it is that 節構文の意味と機能を分析した。

最後に、同一談話内の同じ先行する事柄の背後の部分的な事情や実情が、Some of it is that 節構文と、補文に動名詞を従える “some of it is being ...” によって明かされる事象を指摘しておきたい。

- (25) The ducks are unlike any other bird I've ever raised. I think some of it is being a water bird, and some of it is just that they are strange. If I get the option in the future, I will absolutely let a mama duck raise babies instead of hand raising!

(*Bee Culture*, May 21, 2018)

(カモは私が今までに育てたことがある他のどんな鳥とも違うのです。ひとつには、カモが水鳥だということ、またひとつには、単にカモが普通でないだけなのだと思います。将来、もし選ぶことができるならば、人の手で育てるのではなく、母親のカモにひなを絶対に育ててもらうことにします！)

(25)は「カモは私が今までに育てたことがある他のどんな鳥とも違う」という話し手の認識に対して、その事情が“some of it is being a water bird”という補文に動名詞を従える構文と、“some of it is just that they are strange”という補文にthat節を従える構文で説明されている。いずれも some of itが主語であるが、補文に動名詞を従える構文と、補文にthat節を従える構文とではその意味と機能は異なると仮定される。この現象の解明は今後の課題としたい。

\*本研究は2022-2025年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C) 課題番号22K00616「実情や解釈を披瀝する日英語の構文の諸相に関する記述的・理論的研究」(研究代表者:大竹芳夫)の研究成果の一部である。

## 参考文献

- Bolinger, Dwight (1972) *That's That*. The Hague: Mouton.
- Carlson, Lauri (1983) *Dialogue Games: An Approach to Discourse Analysis*. Dordrecht: D. Reidel Publishing Company.
- Curme, George O. (1931) *A Grammar of the English Language. Vol. III. Syntax*. Boston: D. C. Heath and Company.
- Declerck, Renaat (1992) The Inferential *It is that*-construction and Its Congeners. *Lingua* 87, 303-330.
- Delahunty, Gerald Patrick (1990) Inference: the Story of a Forgotten Evidential. *Kansas Working Papers in Linguistics* 15: 1, 1-28. Lawrence: Linguistics Graduate Student Association, University of Kansas.
- Delahunty, Gerald Patrick (2001) Discourse Functions of Inferential Sentences. *Linguistics* 39: 3, 517-545.
- Jespersen, Otto (1909-1949) *A Modern English Grammar on Historical Principles*. 7 vols. Heidelberg: Carl Winter.
- Koops, Christian (2007) Constraints on Inferential Constructions. In Günter Radden, Klaus-Michael Köpcke, Thomas Berg and Peter Siemund (eds.), *Aspects of Meaning Construction*. 207-224. Amsterdam and Philadelphia: John Benjamins Publishing Company.
- Lee, David A. (1991) Categories in the Description of *Just*. *Lingua* 83: 1, 43-66.
- Otake, Yoshio (大竹 芳夫) (2002) Semantics and Functions of the *It is that*-Construction and the Japanese *No da*-Construction. In Ionin, Tania, Heejeong Ko and Andrew Nevins (eds.), *MIT Working Papers in Linguistics* Vol. 43, 143-157. Cambridge, Massachusetts: MIT, Department of Linguistics, and Philosophy.
- 大竹 芳夫 (1994) 「It is that 構文に関する意味論的、語用論的考察」『英語語法文法研究』創刊号, 117-131. 英語語法文法学会.
- 大竹 芳夫 (1998) 「Why is it / How is it 疑問文の意味と機能に関する実証的考察」『英語語法文法研究』第5号, 95-110. 英語語法文法学会.
- 大竹 芳夫 (2021) 『「(の) だ」に対応する英語の構文』(2009, 東京: くろしお出版). Kindle版 (電子書籍), Amazon.

Poutsma, Hendrik (1929) *A Grammar of Late Modern English. Part I: The Sentence*. Groningen: Noordhoff.

Quirk, Randolph, Sidney Greenbaum, Geoffrey N. Leech and Jan Svartvik (1985) *A Comprehensive Grammar of the English Language*. London: Longman.

Swan, Michael (2016) *Practical English Usage*. Fourth Edition. Oxford: Oxford University Press.